

木津川市社会教育委員会 開催結果要旨

会議名	第1回 木津川市社会教育委員会		
日時	令和5年5月17日(水) 午後1時30分～3時30分まで	場所	庁舎北別館 会議室1
出席者	委員	■高原 和子 ■木村 勝 ■三上 かず子 □花田 康子 ■三谷 博之 ■橋本 京子 ■井上 若菜 ■渡邊 素子 ■藤澤 正典 ■今井 清美 ■石田 康二 □芝原 昌代 ■新谷 涼太郎 ■中川 嗣郎 ※□:欠席者	
	事務局	森永教育長、吉岡次長、久保担当課長、藤田課長補佐、秋元係長、田中係長	
議事要旨	<p>(令和5、6年度 木津川市社会教育委員、公民館運営審議会委員委嘱式)</p> <p>1. 開会 事務局より開会を宣言した。</p> <p>2. 委員委嘱 教育長より各委員に委嘱状を交付した。</p> <p>3. 教育長挨拶 教育長より委嘱にあたり挨拶があった。</p> <p>4. 閉会 事務局より閉会を宣言した。</p> <p>(第1回 社会教育委員会)</p> <p>1. 開会 事務局より開会を宣言し、委員及び事務局職員の自己紹介を行った。</p> <p>2. 議題</p> <p>①委員長、副委員長の選出について 委員長として高原委員、副委員長として木村委員、三上委員を選出した。</p> <p>②専門部会の設置について 今年度も2つの部会の設置を確認した。 部会のメンバーについては、基本昨年度までと同じで、新委員を振り分け、次のとおりとなった。</p> <p>・生涯学習推進計画実践部会(計画実践部会) 木村副委員長(部会長)、花田委員、三谷委員、渡邊委員、橋本委員、藤澤委員、新谷委員</p> <p>・社会教育施設管理運営検討部会(施設運営部会) 三上副委員長(部会長)、井上委員、今井委員、石田委員、芝原委員、中川委員</p> <p>③各委員の選出について 任期内の役員・委員等については、継続して同じ委員が担当し、新たに決める必要がある役については、次のとおり決定した。</p> <p>・山城地方社会教育委員連絡協議会 理事:高原委員長 監事:三上副委員長</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発協議会幹事 三谷委員 ・部落解放、人権政策確立要求木津川市実行委員会 高原委員長 ・児童館運営委員 高原委員長 ・指定管理者選定委員会委員 高原委員長、木村副委員長、三上副委員長 <p>④第2次木津川市生涯学習推進計画の策定について</p> <p>今年度策定予定の「第2次木津川市生涯学習推進計画」について、資料4を基にスケジュール(案)について説明を行い、昨年度までの議論からの変更点として、市民ニーズの把握として、アンケート調査を行い、計画に反映することについて説明を行った。</p> <p>また、資料5を基に策定委員会委員(案)を説明し、またワーキング委員としては、1次同様、社会教育委員の皆さんにお世話になる旨の説明を行い、了承を得た。</p> <p>⑤令和5年度社会教育委員会の予定、計画について</p> <p>今年度の社会教育委員会の開催については、計画のワーキング会議もあることから、委員会開催日に前半委員会、後半ワーキング会議を行うこととした。</p> <p>よって、これまでのように偶数月の水曜日と決めずに開催することとし、次回は、6月29日(木)に開催することとなった。</p> <p>また、部会については、ワーキング会議や指定管理者選定委員会もあることから、必要に応じて開催することとした。</p> <p>3. その他</p> <p>今年度の社会教育委員関係の研修会等の予定について、説明を行い、6月9日に行われる「山城地方社会教育委員会連絡協議会総会」の出欠確認を行った。</p> <p>11月に宮崎県で開催される全国大会については、2人分の予算を確保しており、協議の結果、ひとり石田委員に決定し、もうひとり未定。後日調整することとした。</p> <p>4. 閉会</p> <p>木村副委員長が挨拶を行い、閉会した。</p>
--	--

主な質疑応答要旨

『④第2次木津川市生涯学習推進計画の策定』の関係

(委員)

スケジュールについて、計画策定案を作成し、答申するとなっているが、教育長に答申して決定するということか。

(事務局)

教育委員会である。

(委員)

市として、決定ではないのか。

(事務局)

形式的には、教育委員会で諮問、答申となるが、策定については、木津川市となる。

(委員)

前回は、どのような方法でアンケート調査を行ったのか？今回、施設にもアンケート用紙を置

くと説明があったが、施設によって偏りがでないのか心配である。

(事務局)

前は、無作為抽出によって行った。今回は、市のホームページにロゴフォームを掲載し、調査を行うとともに、インターネット等活用されない方もおられるので、そのような方については、市役所やスポーツ施設、文化施設等に調査票を置いて、広く意見を求められるようにしたいと考えている。

(委員)

幅広くニーズを把握したいというのが目的だと思うが、今の方法の説明で、高齢者の方の意見が把握できるのか。また、男女の意見も幅広く把握する必要があると考える。

(事務局)

高齢者の方のご意見を多く拾い上げられるかということが、たしかに問題になってくるかと思う。できるだけ多くの方の回答がいただけるよう検討します。

(委員)

バックボーンを勘案していただき、回答しやすい内容になるよう、お願いしたい。

(委員)

SNS を使ってアンケートを答えるには、高齢者の方には難しいと思うので、配慮をお願いしたいのと、前回との比較検討ということで、10年前とは、いろんな考えた方が変わっているので、アンケートの内容も時代にあったように、市民の方がどういふことを社会教育に求めているのかが分かるような内容にする必要があると考える。

『3. その他』の関係

(委員)

今日は、教育次長まで出席していただき、ありがたく思っている。これまでは、係長ひとりの出席が多かったが、今後、この会議の際には、どなたが参加していただけるのか確認したい。

また、昨年度は、会議報告がなかったため、以前は、いただいていた時もあったので、今後は、会議録をお願いしたい。

(事務局)

本委員会は、条例上の附属機関ということで、重要な委員会ということは認識している。昨年度までは、係長が担当していたが、今年度から課長補佐が担当となったが、課全体で支えていけないといけないと思っているので、今年度はワーキング会議も行うことから、毎回複数名が出席できるようにしたいと考えます。

議事録については、一言一句の議事録とまではいかないが、私自身は当然必要であると考えられるため調製・公表等については検討したいと考えます。

(委員)

市も情報公開条例があり、それでカバーされていると思うが、本来それに乗っ取ってやるべきである。昨年度は、係長ひとりの出席が多く、ひとりではメモも取れずに大変であったと思うが、条例上の附属機関であれば、少なくともひとり管理職の方が来られるべきではないかと思う。

また、コロナも収束し、時間的に余裕がでてきたことから、今後、報告事項等について、適時やっていただけたらどうかと思う。具体的には、広報誌にも入っていたが、文化センターの工事の

関係や図書館の長寿命化等、この委員会にも関連することなので、報告いただけたらと思う。

(事務局)

情報公開条例と整合を見た中で、議事録のあり方については、十分事務局で検討したいと考えます。

また、当初予算や決算のあらましを毎年、広報誌に折り込んで市民の方にお知らせしているが、委員の皆さまには、今の状況等をお知らせする必要があると思いますので、今後必要な時には、会議の議題や報告事項とさせていただきます。

以上